

### (3)消費収支計算書

消費収支計算書は、当該年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにするための計算書である。前途の「資金収支計算書」上で、収支のつじつまが合っているだけでは、経営の状況を把握することはできない。これを補完するものが「消費収支計算書」である。この計算書は企業会計における損益計算書と類似しており、学校法人の採算性を表している。

消費収入の部では、帰属収入合計が予算対比295,934円減の2,113,654,066円(前年度比11,165,744円減)、基本金組入合計が、予算比48,802,016円減の189,567,984円(前年度比9,781,404円減)となり、消費収入の部合計は予算比48,506,082円増の1,924,086,082円(前年度比1,384,340円減)となった。

消費支出の部では、消費支出の部の合計が予算比12,996,979円減の2,042,702,021円(前年度比76,730,607円減)となった。

当年度消費収支差額は、118,615,939円の消費支出超過額(前年度は193,962,206円の消費支出超過)で、前年度繰り越消費収入超過額1,375,765,723円を加え、翌年度消費収入超過額は1,259,069,414円となった。

## 消費収支計算書

平成23年 4月 1日 から  
平成24年 3月31日 まで

<総括表>

(単位 円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,481,799,000	1,477,954,000	3,845,000
手数料	19,120,000	17,314,070	1,805,930
寄付金	1,300,000	3,625,035	△ 2,325,035
補助金	502,396,000	491,709,650	10,686,350
国庫補助金	120,893,000	109,699,000	11,194,000
地方公共団体補助金	381,503,000	382,010,650	△ 507,650
資産運用収入	48,735,000	48,966,666	△ 231,666
資産売却差額	400,000	400,000	0
事業収入	2,980,000	7,554,097	△ 4,574,097
雑収入	57,220,000	66,130,548	△ 8,910,548
帰属収入合計	2,113,950,000	2,113,654,066	295,934
基本金組入額合計	△ 238,370,000	△ 189,567,984	△ 48,802,016
消費収入の部合計	1,875,580,000	1,924,086,082	△ 48,506,082
消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	1,083,782,000	1,097,403,565	△ 13,621,565
教育研究経費	785,945,000	763,231,948	22,713,052
管理経費	179,014,000	171,836,093	7,177,907
借入金等利息	1,958,000	1,957,785	215
資産処分差額	0	1,266,149	△ 1,266,149
徴収不能引当金繰入額	0	7,006,481	△ 7,006,481
[予備費]	5,000,000		5,000,000
消費支出の部合計	2,055,699,000	2,042,702,021	12,996,979
当年度消費支出超過額	180,119,000	118,615,939	
前年度繰越消費収入超過額	1,375,765,723	1,375,765,723	
基本金取崩額	0	1,919,630	△ 1,919,630
翌年度繰越消費収入超過額	1,195,646,723	1,259,069,414	